

**製品名: DOR-1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab10118**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	人間、マウス、ラット、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	40kDa

**抗原情報**

遺伝子名	OPRD1
別名	OPRD1; OPRD; Delta-type opioid receptor; D-OR-1; DOR-1
遺伝子 ID	4985.0
SwissProt ID	P41143
免疫原	抗血清はヒトオピオイド受容体デルタ由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 323-372

**背景**

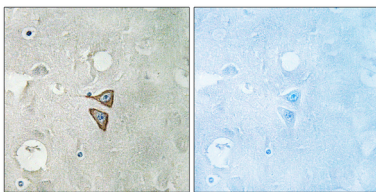
機能: カルシウムイオン電流を減少させ、カリウムイオン伝導率を上昇させることで神経伝達物質の放出を阻害する。立体選択性が

高い。エンケファリン受容体。オンライン情報：デルタオピオイド受容体エントリー。類似性：Gタンパク質共役受容体1ファミリーに属する。サブユニット：GPRASP1と相互作用する。機能：カルシウムイオン電流を減少させ、カリウムイオン伝導率を上昇させることで神経伝達物質の放出を阻害する。立体選択性が高い。エンケファリン受容体。オンライン情報：デルタオピオイド受容体エントリー。類似性：Gタンパク質共役受容体1ファミリーに属する。サブユニット：GPRASP1と相互作用する。

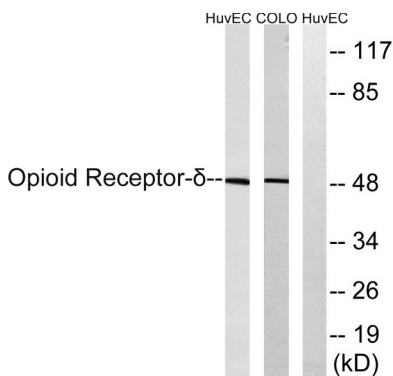
## 研究分野

神経活性リガンド-受容体相互作用;

## 画像データ



オピオイド受容体デルタ抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



オピオイド受容体デルタ抗体を用いた HUVEC および COLO205 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。